

2021年度・環境経営レポート



2022年6月29日作成

(対象期間 2021年4月1日～2022年3月31日)

株式会社トチギテック

【1】環境経営方針

株式会社トチギテック

環境方針

《基本理念》

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動をする。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う主として精密機械加工部品の製造に関する事業活動が、環境に与える負荷を考慮し、以下の環境保全活動を推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー、資源循環、公害防止に配慮した活動を行い、環境に与える負荷を軽減しつつ、経営にやさしい取組を実践する。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進する。
3. 環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
4. 次の項目を環境保全の重要項目として、環境目標を設定し、必要があれば見直すなどの効果的な取組を行う。
 - ① 二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)
 - ② 廃棄物排出量削減 及び リサイクル推進
 - ③ 総排水量削減(節水)
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 地域及び顧客の満足度向上
5. この方針を達成するために、教育・訓練の実施、内部コミュニケーションの活性化により、環境保全活動に関する意識を高める。

平成31年4月1日
株式会社トチギテック
代表取締役社長 志賀野 泰孝

【2】事業概要

1. 会社概要

- ①会社名 : 株式会社トチギテック 本社工場
 ②代表者名 : 代表取締役社長 志賀野 泰孝
 ③環境管理責任者 : 管理部 部長 千賀 俊宏
 ④本社所在地 : 栃木県宇都宮市清原工業団地 7 番 2
 ⑤設立 : 2015年
 ⑥資本金 : 2,000万円
 ⑦売上額 : 約6.6億円
 ⑧株主 : U-TEC 他9名
 ⑨従業員数 : 49名
 ⑩地域指定 : 工業専用地域
 ⑪敷地面積 : 40,764㎡
 ⑫建物延べ面積 : 12,832㎡
 ⑬E A 2 1 対象組織 : 事業所名 : 株式会社トチギテック 本社工場
 所在地 : 栃木県宇都宮市清原工業団地 7 番 2
 敷地面積 : 40,764㎡
 建物面積 : 12,832㎡
 ⑭E A 2 1 対象外組織 : 事業所名 : 株式会社トチギテック 矢板事業所
 所在地 : 栃木県矢板市こぶし台 9
 敷地面積 : 56,100㎡
 建物面積 : 18,900㎡
- 環境管理責任者 : 千賀 俊宏
 ○連絡先 : 028-612-3191
 ○FAX : 028-612-3195
 ○メールアドレス : toshihiro.senga@u-tc.co.jp

2. 沿革

- 1954年 : 出雲産業株式会社へ社名変更
 1964年 : 富士重工業(株)宇都宮製作所と取引開始
 1977年 : 宇都宮市戸祭町より宇都宮市今宮へ移転
 1977年 : 鹿沼工場設立、操業開始
 2015年 : 株式会社 トチギテックへ社名変更
 2016年 : 本社工場設立、操業開始
 2021年 : 本社工場物流倉庫、竣工

3. 製品概要

- ◇航空機部品、治具
 ◇原子燃料部品
 ◇切削工具



RB-300F(新日本工機製)



INTEGRExe-420H-S(マザック製)

4. E A 2 1 対象範囲 : サイト認証

- ◇対象組織 : 本社工場
 ◇事業活動 : 精密部品・航空機部品・治具・原子燃料部品・切削工具等の加工、営業倉庫

5. 事業形態

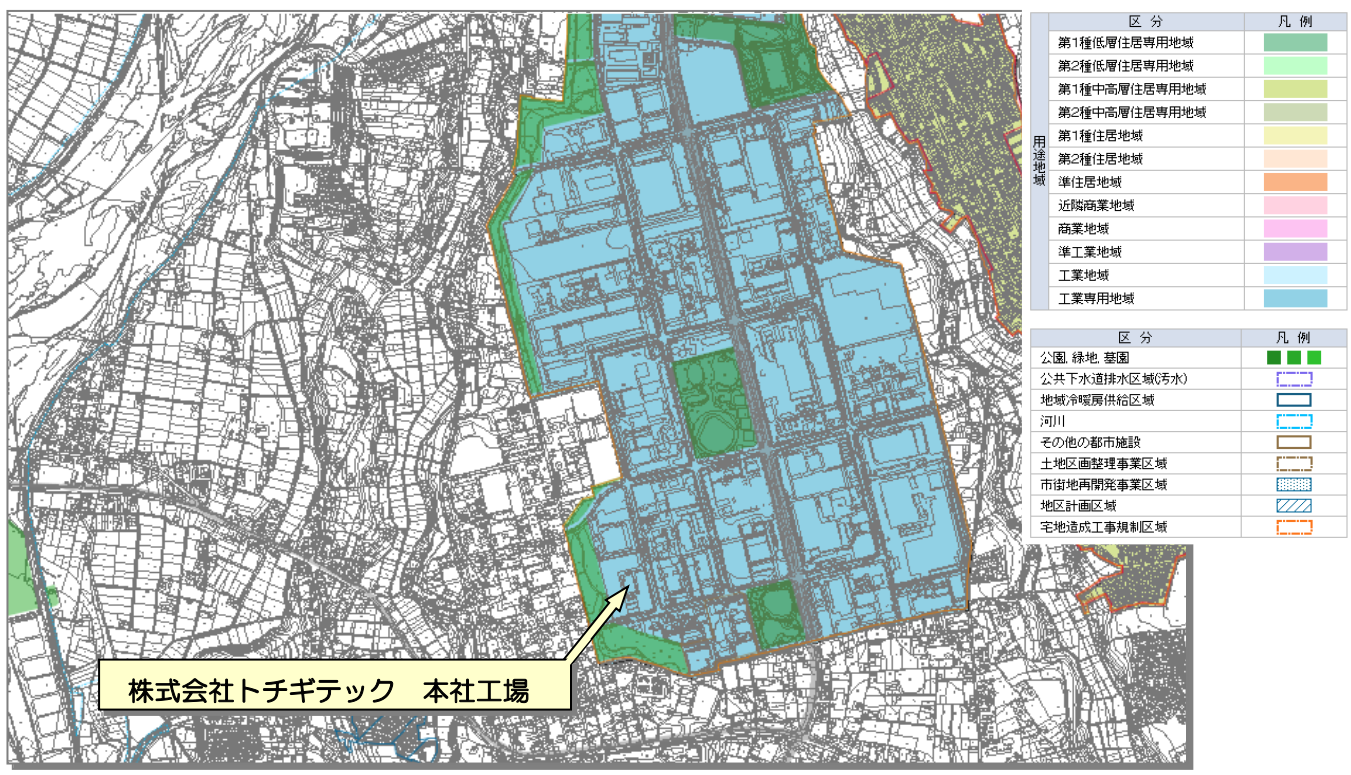
- (1) 事業年度 : 4月～翌年3月
 (2) 年間稼働日数 : 240日
 (3) 就業形態 : 1シフト
 (4) 就業時間 : 8:35～17:35
 (午前・午後各10分休憩 実働8時間労働)

6. 敷地概要

◇都市計画法での用途地域指定：工業専用地域

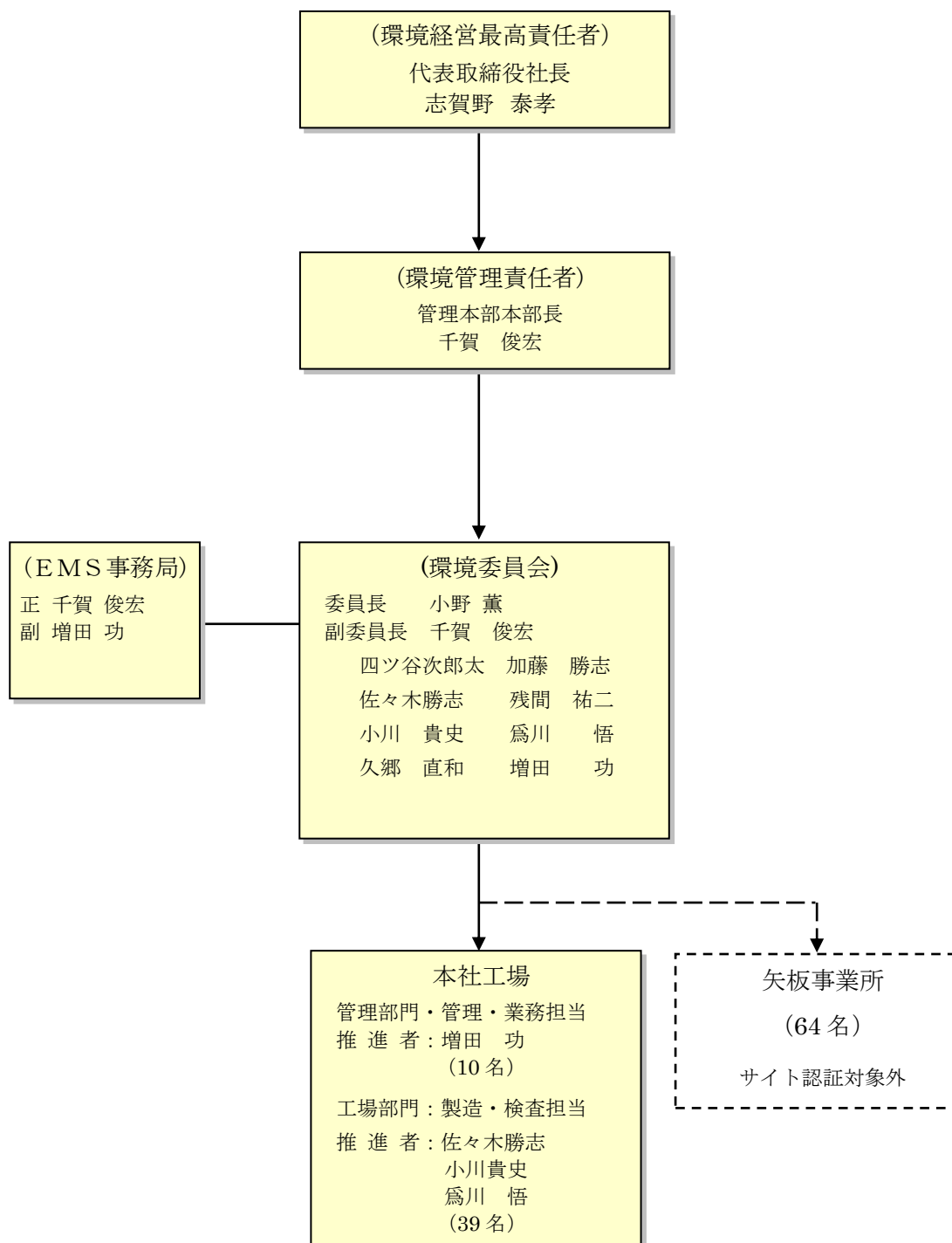
◇栃木県生活環境の保全等に関する条例での指定区域：工業専用地域

本社工場地図



7. エコアクション21実施体制の構築

EMS運営組織図



【3】環境経営目標とその実績

事業年度 2021.4月～2022.3月

項目	単位 (加工高比)		基準年度	目標値／実績			
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	目標率	—	-1%	-2%	-3%	
		目標値	加工高比	3,052	2,339	2,315	2,291
			総量(kg-CO ₂)	947,027	699,232	692,169	685,106
		実績値	加工高比	2,362	1,882		
			総量(kg-CO ₂)	706,295	635,362		
資源エネルギー使用量の削減(電気使用量の削減)	kwh/百万円	目標値	5,871	4,475	4,430	4,384	
		実績値	4,520	3,604			
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	ℓ/百万円	目標値	(ガソリン)	28.31	24.22	23.97	23.73
			(軽油)	8.10	8.65	8.57	8.48
		実績値	(ガソリン)	24.46	17.66		
			(軽油)	8.74	8.11		
廃棄物排出量削減		目標率	—	-1%	-2%	-3%	
一般廃棄物の削減 (可燃ごみ等の削減)	kg/百万円	目標値	5.10	16.06	15.9	15.73	
		実績値	16.22	6.22			
産業廃棄物の削減 (廃油・廃プラ等の削減)	kg/百万円	目標値	19.69	20.49	20.29	20.08	
		実績値	20.70	15.27			
省資源		目標率	—	-1%	-2%		
総排水量の削減	m ³ /百万円	目標値	5.20	5.04	4.99	4.94	
		実績値	5.09	2.58			
グリーン購入品の推進及び コピー用紙購入量の削減	枚/百万円 (A4換算)	目標値	597	212	210	208	
		実績値	214	130			
製品の環境性能の向上 及びサービスの改善	不良率 (%)	目標率	—	-1%	-2%	-3%	
		目標値	—	0.310	0.307	0.304	
		実績値	0.314	0.190			
5S活動と環境保全活動	評価点 (100点満点)	目標率	—	+1点	+2点	+3点	
		目標値	84点	85点	86点	87点	
		実績値	84点	85点			

* 二酸化炭素排出量について(購入電力排出係数は 0.505kg - CO₂/kwhを使用する)

* 化学物質使用量は、少量であるので、環境経営目標を策定しない。

【4】 主要な環境経営計画の内容

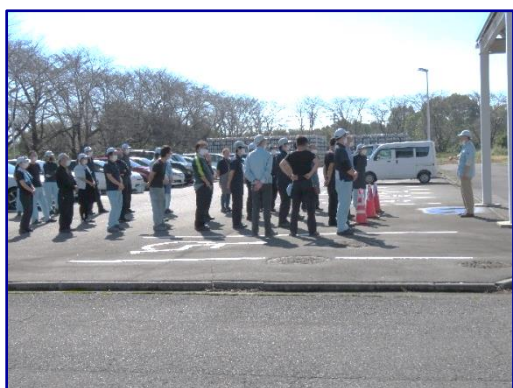
事業活動における環境への負荷を低減するために、従業員一同が取組んでいる主な環境活動内容は以下の通りです。

1. 活動内容

事業年度: 4月～翌年3月

項目	推進担当者	実行責任者	2021年度
			計画及び実行内容
二酸化炭素排出量削減			
資源エネルギー使用量の削減（電気使用量の削減）	各部署 全員	増田	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の間引きと未使用場所・使用後の消灯実施 ・工場内機械・照明灯パトロール実施 ・温水設備の冬季以外の使用禁止 ・帰社時にパソコンのコンセントを抜く習慣を周知 ・未使用場所のエアコンの電源OFF ・エアコン使用状態パトロール実施 ・外気温とエアコン設定温度を確認した適正運転
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	各部署 全員	網野	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ10か条の実施 ・宅急便・定期便の利用と車両の使用回数の縮小 ・車種変更による小排気量化
廃棄物排出量削減			
一般廃棄物の削減（可燃ごみ等の削減）	各部署 全員	増田	<ul style="list-style-type: none"> ・分別による資源物化と再利用による廃棄物の削減 ・廃棄物パトロール実施 ・通い箱の活用による梱包材等の廃棄物削減
産業廃棄物の削減（廃油・廃プラ等の削減）	各部署 リーダー	増田	<ul style="list-style-type: none"> ・分別による資源物化で廃棄物の削減 ・廃棄物パトロール実施 ・処分量の平準化
省資源			
総排水量の削減	全員	増田	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の掲示と周知と節水意識の向上
グリーン購入品の推進及びコピー用紙購入量の削減	全員	郷間	<ul style="list-style-type: none"> ・保管書類のPDF化と印刷数の把握 ・会議資料の簡素化とデータ化 ・裏面利用及び縮小・両面印刷等による無駄な印刷を削減 ・グリーン商品の優先購入
製品の環境性能の向上及びサービスの改善	各部署 リーダー	増田	<ul style="list-style-type: none"> ・不良率の低減 ・端材が出ない材料の取得 ・人材育成と多能工化
5S活動と環境保全活動	各部署 リーダー	改善事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sパトロール実施 ・工場内一斉清掃の実施 ・工場周辺の清掃活動実施 ・工場敷地内草花植栽等の美化運動実施

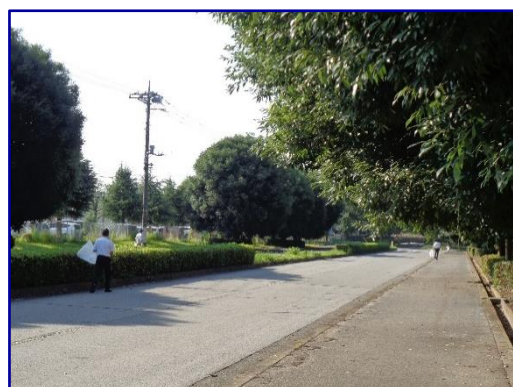
2. 実施状況



避難訓練



消火訓練



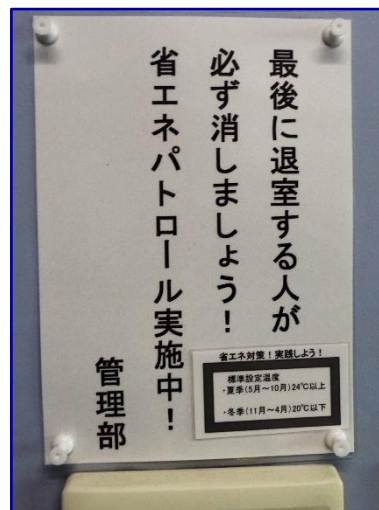
工場周辺清掃活動



正門周辺に草花植栽



照明の節電掲示



照明とエアコンの節電掲示

【5-1】環境経営計画の取組結果の評価及び見直し

2021年度加工高：337（単位：百万円）

項目	取組項目・評価	目標値 (加工高比)	取組結果(2021年度)					達成:○ 経過観察:△ 是正:×	
			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間		
二酸化炭素排出量削減	BM比 99%	目標値	2,339	2,339	2,339	2,339	2,339	○	
		Kg-CO ₂ /百万円	実績値	1,952	1,688	1,600	2,291		1,882
			達成率	119.82%	138.56%	146.18%	102.09%		124.28%
	BM比 99%	目標値	174,808	174,808	174,808	174,808	699,232	○	
		Kg-CO ₂ (総量)	実績値	128,304	150,976	142,995	213,086		635,361
			達成率	136.24%	115.78%	122.24%	82.03%		110.05%
資源エネルギー使用量の削減 (電気使用量の削減)	Kwh/百万円	目標値	4,475	4,475	4,475	4,475	4,475	○	
		実績値	3,693	3,236	3,056	4,422	3,604		
		達成率	121.17%	138.28%	146.43%	101.19%	124.16%		
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	L/百万円	目標値	32.87	32.87	32.87	32.87	32.87	○	
		実績値	36.40	22.50	23.12	23.93	25.77		
		達成率	90.30%	146.08%	142.17%	137.35%	127.55%		
[評価]	照明の間引きと未使用場所の消灯やエアコンの電源OFF、外気温とエアコン設定温度を確認した適正運転、省エネパトロールの実施等による電力量の削減、エコドライブの実施や車両の使用回数縮小等による燃料使用量の削減ができた。節電意識の向上が図れた。								
[社長コメント]	節電意識の向上により大きな成果が実現できました。今後も節電やエコ運転を心掛け二酸化炭素排出量の削減に取り組んでください。								
廃棄物排出量削減	BM比99%	目標値	16.06	16.06	16.06	16.06	16.06	○	
		kg/百万円	実績値	14.91	3.69	5.37	3.33		6.22
			達成率	107.71%	435.23%	299.06%	482.28		258.19%
	産業廃棄物の削減 (廃油・廃プラ等の削減)	kg/百万円	目標値	20.49	20.49	20.49	20.49	20.49	○
			実績値	49.41	0	21.54	0	15.27	
			達成率	41.46%	-	95.12%	-	134.18%	
[評価]	分別による資源化、再利用の促進や通い箱使用等により廃棄物の排出量を削減できた。5S活動が進み作業環境や作業効率の向上に繋がった。今後も分別を進め排出量の削減を進める。								
[社長コメント]	5Sにより工場内がきれいになってきました。分別による資源化や再利用等で排出量を減らし、環境にやさしい工場になることを願います。								
省資源	BM比99%	目標値	5.04	5.04	5.04	5.04	5.04	○	
		m ³ /百万円	実績値	3.53	2.90	2.22	1.95		2.58
			達成率	142.77%	173.79%	227.02%	258.46%		195.34%
	グリーン購入品の推進及びコピー用紙購入量の削減	枚/百万円	目標値	212	212	212	212	212	○
			実績値	396	0	56	140	130	
			達成率	53.53%	-	378.57%	151.42%	163.07%	
[評価]	節水意識の向により水使用量の削減、書類のPDF化や裏面利用等によりコピー用紙購入量の削減ができた。今後もこれを維持し目標達成を継続する。								
[社長コメント]	目標を達成できた要因は全員の節水・節約意識の向上によるものです。今後もこれに満足せず目標達成維持に励んでください。								

項目	目標値		取組結果(2021年度)					達成: 経過観察: 是正:×
			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	
製品の環境性能の向上及びサービスの改善	不良率%	目標値	0.310	0.310	0.310	0.310	0.310	○
		実績値	0.336	0.320	0.081	0.099	0.190	
5 S活動と環境保全活動	評価点 (100点満点)	目標値	85点					○
		実績値	85点					
〔評価〕	5 S活動により作業環境や作業効率が上昇したことで不良率が下り目標を達成できた。また環境活動にも力を入れ、作業しやすい職場を目指します。							
〔社長コメント〕	作業環境が良くなったことで作業効率が上がり、全員で取組むことにより環境意識が向上し目標を達成できました。今後も活動を続けてください。							

* 二酸化炭素排出量について（購入電力排出係数は 0.505kg - CO2/kwhを使用する）

【5-2】環境経営計画の取組結果の評価と次年度の取組み

項目	目標値 (2020年度B M比に対し て2022年度 削減目標)	評価 (2021年4月1日～2022年3月31日)	見直し及び取り組み内容 (2022年4月1日～2023年3月31日)
二酸化炭素排出量の削減	-2%	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の間引きや未使用場所の消灯により不要照明の削減ができた。 ・エアコンの未使用場所の電源OFFや外気温と設定温度確認による適正運転(温度差がない場合の外気の取入れ)の実施、及び省エネパトロールによる不要電力の削減で、節電意識の向上が図れた。 ・温水設備の冬季以外の使用禁止と使用頻度が少ない場所の温水使用を制限できた。 ・エコドライブの実施や車両の使用回数の縮小及び排気量の小さい車両への入替えにより燃料使用量を削減できた。 ・年間として目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネパトロールの実施。 ・エアコンの温度管理と適正運転。 ・照明設備の電源管理。 ・温水設備の冬季以外の使用禁止。 ・エコドライブの実施。 ・車両の使用回数縮小。
資源エネルギー使用量の削減(電気使用量の削減)	-2%		
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	-2%		
廃棄物排出量削減	-2%	<ul style="list-style-type: none"> ・分別による資源化や再利用により廃棄物の排出量が削減できた。 ・通い箱使用により梱包資材の削減に繋がった。 ・年2回の廃棄物処分となった。 ・年間として目標を達成できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別による資源物化。 ・再利用による排出量の削減。 ・通い箱使用の継続。
一般廃棄物の削減(可燃ごみ等の削減)	-2%		
産業廃棄物の削減(廃油・廃プラ等の削減)	-2%		
省資源	-2%	<ul style="list-style-type: none"> ・保管書類のPDF化やPCからのFAX、会議資料の簡略化により印刷数を削減できた。 ・コピー用紙の裏面利用等により購入量の削減に繋がった。 ・水使用量については、節水の周知により使用量を削減できた。 ・グリーン購入品についてはエコ商品の優先購入を継続する。 ・年間として目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保管書類のPDF化拡大。 ・コピー用紙の裏面再利用等の実施。 ・印刷枚数の管理。 ・節水意識の向上。 ・グリーン購入品の優先購入促進。
総排出量の削減	-2%		
グリーン購入品の推進及びコピー用紙購入量の削減	-2%		
製品の環境性能の向上及びサービスの改善	-2%	<ul style="list-style-type: none"> ・作業効率向上により不良率が減少し、目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業効率の向上による不良率の減少と要因分析及び対策。
5S活動と環境保全活動	86点	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sパトロールや工場内一斉清掃を実施でき作業環境が良くなった。 ・工場周辺の清掃活動や工場敷地内美化運動が実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sパトロールの実施。 ・工場周辺の清掃活動実施 ・工場内美化運動実施

【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規等の名称	適用内容	規制基準値、その他	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板掲示（60cm以上）	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書・業者の許可証	
	委託契約書の保管	5年間保管	
	マニフェストの管理・保管	5年間保管	
	マニフェストの管理表の市への届出	毎年6月末日まで	
騒音規制法 （栃木県生活環境保全条例）	特定施設からの騒音に関する規制基準の遵守及び施設の届出（第4種区域）	特定施設 ・空気圧縮機：4台	○
振動規制法 （栃木県生活環境保全条例）	特定施設からの振動に関する規制基準の遵守及び施設の届出（第2種区域B）	特定施設 ・空気圧縮機：4台	○
消防法	危険物貯蔵所の点検・数量確認及び設置の届出	指定数量の5分の1以上及び指定可燃物は『貯蔵取扱届出書』が必要	○
労働安全衛生法	安全部会体制 安全衛生推進者・安全管理者の選任	毎月1回の安全部会	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品	3ヶ月に1回の簡易点検	○
浄化槽法	浄化槽	月2回の保守点検	○

1. 遵守状況：社内における遵守評価の結果、上表に示すとおり法の逸脱はありません。
2. 更新時期：毎年4月に実施します。
3. 苦情等の有無：外部からの苦情は、過去22年間ありません。
4. 提訴等の有無：関係当局からの指摘及び利用関係者からの訴訟は、創業以来ありません。

【7】代表者による全体の評価・見直し

項 目	評 価 (2021年4月1日～2022年3月31日)	見直し及び取り組み内容 (2022年4月1日～2023年3月31日)
代表者による全体の評価・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は新たな目標を立てた活動になりました。 ・結果として年間を通してすべての項目で目標を達成することができ、環境活動が順調に進んでいると言えます。ご苦勞様でした。全員で環境活動に取り組んだ結果です。 ・二酸化炭素排出量削減については照明やエアコンの電源管理や運用方法の改善等節電意識の向上が見られ、車両燃料使用量についてもエコドライブ10か条の運用や使用状況改善によって燃料使用量を削減し、結果として二酸化炭素排出量削減に繋がりました。 ・廃棄物排出量削減についても分別による資源物化や再利用、通い箱使用によって排出量を削減できました。 ・省資源については節水の徹底やデータ化とコピー用紙の裏面利用により大幅な削減となりました。 ・本年度より実施した製品の環境性能の向上及びサービスの改善については、作業効率の向上や作業環境改善により不良率を下げることができました。 ・5S活動と環境保全活動については5Sパトロールや事業所周辺の清掃作業、所内美化運動等環境に配慮した運動が実施できました。 ・次年度もこの活動を継続し目標達成を維持できるよう期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の継続 ・環境目標の継続 ・環境対策の実施